

伊勢湾の航行船舶に注意！

伊勢湾内では、船びき網漁業が盛んに行われ、航行船舶が網を切断したり、漁船を転覆させる事故が発生しています。

船びき網漁業では、過去5年で9件の海難が発生しており、4隻が転覆し、うち1名の方が亡くなっています。

操業中の漁船は、次のことに十分注意してください。

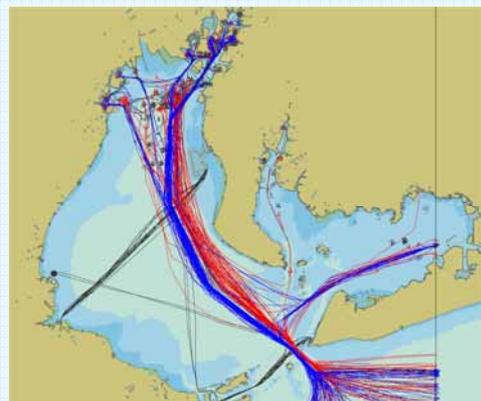
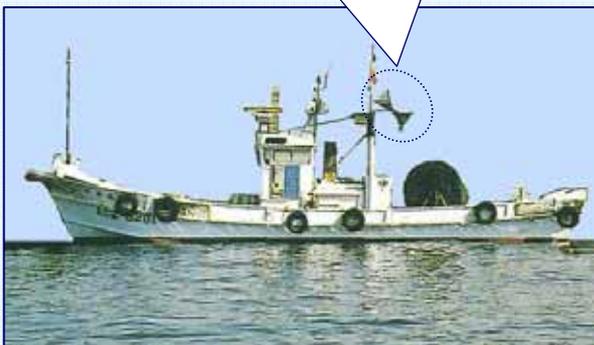
厳重な見張り

早期の注意喚起

ライフジャケットの着用



操業中は見やすい場所に
鼓形形象物を掲げてください。



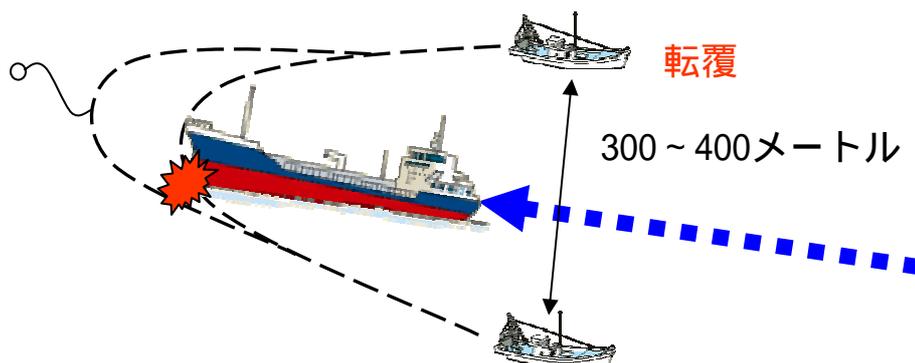
500以上の船舶の通行船状況(1日分)

(平成19年8月1日)

船びき網漁船の海難事例

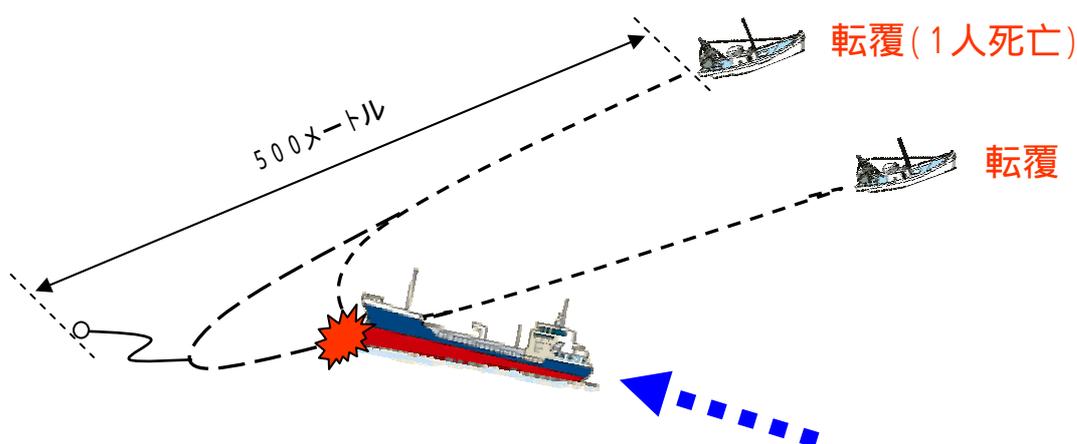
事例 1

早朝の三河湾を貨物船が航行中、前方に漁船 2 隻を発見したが、両船の間が広がったため、一そう曳き漁船と判断し漁船の間を航行、船びき網を引っ掛け、網船 1 隻を転覆させた。



事例 2

早朝の名古屋港沖を貨物船が航行中、操業中の漁船団を認めたため、減速・変針し、十分避けて航行したつもりだったが、船びき網を引っ掛け、網船 2 隻を転覆させた。



船内における負傷事故

海難の他、船びき網漁業においては、ローラーに手を挟む等という事故が他の漁業に比べ多く発生しています。
漁ろう作業中の安全確認を確実に行って下さい。